

選択必修領域「社会の変化に対応した学校教育の在り方」講習概要・時間割

1. 日 時 : 令和3年8月20日(金) 10:00~17:20 (休憩時間を含む)

2. 募集人数 : 40名

3. 講習内容

国の教育改革や学習指導要領改訂の動向及び学校の内外における連携協力の在り方について考える。コロナ禍のような予期しない事態に遭遇するなど社会は目まぐるしく変化していくことが予想される。このような時代に求められる学校教育はどのようなものか、これからの指導の在り方を探りたい。具体的には「学校における諸課題の状況」「体験活動の充実」「教育相談」「学校事故と危機管理」等の事項について、講義と討論形式により教員に求められる最新の知識・技能の習得を目指す。

4. 時間割等(予定)

時限(時間)	講習題目	内容	担当講師等
9:30~10:00	【 受付 】		
1時限目 10:00~11:20	学校における諸課題の状況	子どもを取り巻く環境の変化から、学校が直面する課題も多様化している。こうした事情を踏まえたうえで、最近の具体的な問題事象について取り上げ講義する。その後、講義内容を踏まえてグループ・ディスカッションを行い、受講者がともに刺激し合い、新たな学びを深めることをめざす。	海口 浩芳 商学部教授
2時限目 11:30~12:50	体験活動の充実	体験活動を通して感性を育成することの意義を認識するとともに、各教科等の特質に応じた体験活動の効果について考察し、各学校の教育活動の改善充実に生かせるようにする。	早川 信一 工学部教授
12:50~13:40	【 昼休み 】		
3時限目 13:40~15:00	教育相談	「子どもの心を育てる」ことは、カウンセリング導入時期から渴望されてきた課題でした。また問題行動の発生原因を探るうえで、思考・感情・行動のメカニズムや、発達障害や愛着障害などの背景因子をとらえる方法が求められます。最近では、多職種連携によるチーム学校作りが盛んに指摘されていますが、まずは教育相談の基礎的理解と実践力が必要であることを意識し、各種アプローチ方法の修得を目的として取り組みます。	小澤 貴史 政経学部准教授
4時限目 15:10~16:30	学校事故と危機管理	学校における危機管理とはどのようなものか。実際に発生した事件や事故などを取り上げながら具体的に対応・対策について考える。また未然防止のための方策や関係機関との連携についても取り上げ、学校における危機管理についてまとめていく。	戸川 点 国際学部教授
5時限目 16:40~17:20	修了試験(筆記試験)		
17:20~17:30	閉講の挨拶及び事務連絡		

※ 各時限の担当講師・内容は変更となる場合があります。

※ 学内定期試験中のため、講習中にチャイムが鳴りますので、ご了承ください。